

平成 30 年 6 月 20 日
瑞浪市民生部保険年金課

平成 30 年度 第 1 回瑞浪市国民健康保険運営協議会議事録

日 時 平成 30 年 6 月 20 日（水） 13 時 30 分～14 時 50 分
場 所 瑞浪市役所 西分庁舎 1 階会議室
出席者 ・ 被保険者代表 三浦千恵子、有我重子、三宅康夫、加納牧雄
・ 保険医薬剤師代表 野田和也、山田秀樹
・ 公益代表 溝口博敏、伊藤明芳、橋本孝晴
・ 被用者保険代表 澤田利幸
・ 事務局 瑞浪市長 水野光二
民生部長 加藤誠二
保険年金課長 林 恵治
課長補佐兼国保係長 豊崎 忍
国保係主査 後藤悠希
欠席者 江口研、佐々木貴浩、木村ゆき子
議事録署名者 加納牧雄委員 野田和也委員
傍聴者 4 名

1. 開会

開会及び協議会成立の宣言

2. 挨拶

会長及び市長挨拶

3. 報告事項

平成 29 年度瑞浪市国民健康保険事業報告について

事務局より 林 説明

※法令の主な改正（軽減判定の基準所得の引き上げ、高額療養費制度の見直

し)の説明及び決算状況、特定健康診査・特定保健指導事業報告

委員質疑 特定健診について、40歳到達者の窓口負担額の無料化とした効果はどれほどでしょうか。

事務局 平成29年度の40歳到達者の受診率は14.6%です。平成28年度は20%、平成27年度は29.2%、平成26年度は19.4%となっております。平成29年度にただちに効果が顕れているわけではありませんが、今後40歳到達者が毎年特定健診を受けるきっかけとするため今後も重要な事業と考えております。

委員質疑 継続していただくことが大事と考えます。受診勧奨について、平成30年度は何かありますでしょうか。

事務局 平成31年度の実施に向けて、土岐医師会と協議中ではありますが、情報提供事業を開始したいと考えています。この事業については、特定健診の対象者の中で、定期的に診療を受けている方について、情報を提供いただくというものです。また、特定健診の要件を満たさない方でも、同意を得て、通常の検査に特定健診の項目を追加していただくことなども考えています。

4. 議題

議第1号 平成30年度瑞浪市国民健康保険料率について

事務局より 豊崎 説明

委員質疑 財政調整基金についてですが、減少していきながら調整していくとのことですが、最終的にはゼロ円となるのでしょうか。

事務局 今後、市が県に納める国保事業費納付金の金額がどのようになるか未確定ですが、現状の保険給付費等の推移であれば、財政調整基金をそれほど大きく取り崩すことなく対応していけるかと思えます。ただし、今後納付金が大きくなれば、必要な保険料が大きくなるため、そういった時に対応するためにある程度基金を保有しておく必要がありますので、ゼロ円にするということまでは現状考えておりません。平成12年、厚労省より、基金の保有割合は9~10%程度が望ましいと通知が出ております。今回の制度改革に伴い、再度厚労省より新たな通知が出るかもしれませんが、現状確認できておりません。

- 委員質疑 平成 30 年度の保険料率は、東濃の多治見市、土岐市と比較してどうでしょうか。
- 事務局 多治見市、土岐市なども、現在確定はしておりませんが、情報交換する中で、1 人当たり保険料は、瑞浪市の方が数千円低くなると認識しております。
- 委員質疑 国保料の目標収納率を 96.5%で設定しているが、かなり高い目標と思います。実際に到達できるものでしょうか。また、到達できない場合は。
- 事務局 目標については、大きく割り込んでしまった場合、収入額が足りなくなってしまうということになりますが、そういったことがないよう、保険年金課職員一丸となって取り組みます。
- 決定事項 平成 30 年度国民健康保険料率については議案のとおり可決。

5. その他

事務局より 林 説明

平成 30 年度健康講演会について

平成 30 年 11 月 23 日（金）勤労感謝の日、東濃厚生病院が市民公開講座を計画してみえますので、合同で総合文化センターにおいて開催を検討しています。詳細等決まりましたら広報みずなみ等でお知らせします。

～質疑終了～

6. 閉会